



一人の子どもの生活体験  
をもとに、そこにかかわっ  
ている子どもたちが疑似  
体験をし、たくさんの学び  
をしています。

家庭で経験したことは、即、遊びにその様子が反映されています。  
「飲んで、飲んで、飲んで・・・」子どもたちの遊びの中で突然出てきたフ  
レーズです。そのフレーズが面白くて口伝えでみんなに広まりました。  
それと同時に「電車で寝ないでください。」「次、終点です」

冬休みに経験したことをごっこ遊びで表現している子どもたちです。  
地震が起きると即、地震ごっこにもなります。昼食でフォークとナイフでお  
肉を切って食べる経験をするとごっこ遊びでもフォークとナイフができ  
ます。小学校の出来事がごっこ遊びに表現され、基地やお家に図書館や勉強  
をするスペースができたりします。

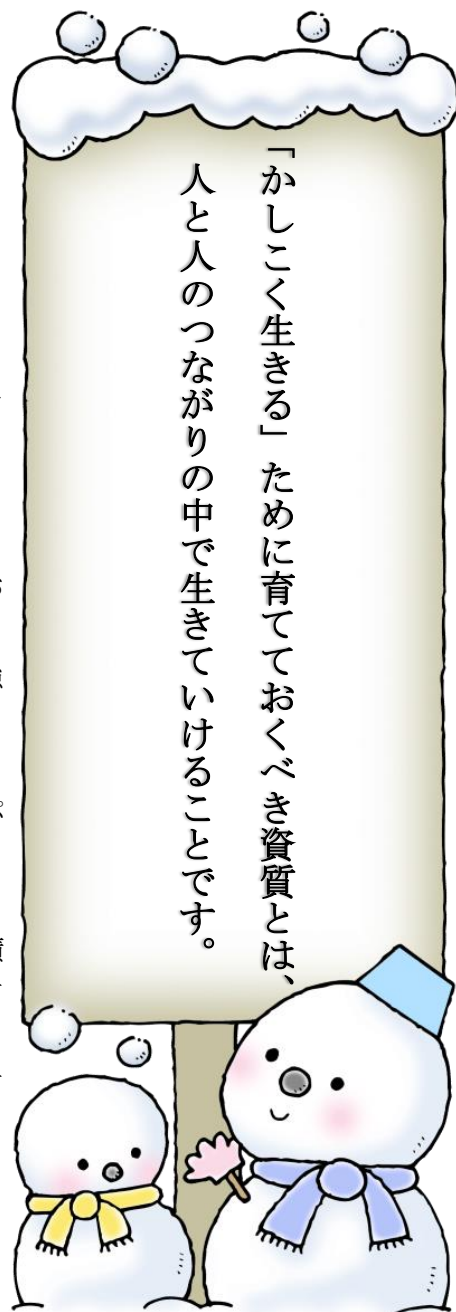
一人の友だちが経験したことを中心に自分が知っていることをプラスし  
て自分が経験したことだけでなく、友だちの経験も自分のものにしキャバ  
を広げ、いろいろな在り方を体得していくためにごっこ遊びがあるのです。

自分たちの生活している中で見たり聞いたり使ってみたりしていること  
を次々に遊びで表現し、自分たちのイメージに沿った内容にブロックや積  
み木、段ボールを使って工夫して必要なものを作っています。イメージして  
いることが表現できるように、またイメージを出し合って作り出していく  
ことができるように材料の提供、遊びのヒントを出していきたいと思っ  
ています。

イメージを共有する力は大切です。本を読むときも、ゲームをするときも  
動画（テレビなどを含む）を見るときも、学校の授業を聞いて学ぶときにも  
イメージが必要です。イメージして理解するのです。

そのためにイメージの世界を知ることは大切です。

『どろろんさい』のイメージの共有が長く続いています。サンタクロースも  
同じですが、「なんだ、架空の人物か・・・本当ではないんだ！」とがっかり  
して終わってしまうのではなく、架空の人物やイメージの世界だとわか  
ってもそれを楽しむことができる力が必要なのです。それを壊してしまう  
のは往々にして大人の関りです。大人の関りをに気を付けて子どもたちの  
イメージを大切にしていきたいものです。



「かしこく生きる」ために育てておくべき資質とは、  
人と人のつながりの中で生きていけることです。



基本保育時間は、  
7:00~19:00 です。

7:00~7:30、  
18:30~19:00  
の利用の場合は、  
お知らせください。



## 2月のおしらせ

○コロナ感染予防・インフルエンザの感染予防のためにできること、マスク着用、水分補給  
を十分にし、体を冷やさないようにして(温めて)過ごすことで、乗り切っていきましょう。

